

産業衛生技術部会 令和4年度第一回企画運営委員会 議事録(案)

日時：2022年8月29日(月) 10:00~12:00

場所：ZOOMによるオンラインミーティング

出席者：飯田, 大久保, 加藤, 川上, 久保田, 齊藤, 津田, 藤間, 中原, 中村(修), 橋本, 原, 宮内, 山野  
(敬称略, 五十音順)

1. 第32回全国協議会での部会主催行事について  
全国協議会での部会主催行事についての確認が行われた。
2. 第96回学会(宇都宮, 2023/5/10~12)での部会主催行事の企画について  
第96回学会での部会主催行事について, 下記の企画案の提案があった。
  - 社内外の産業衛生技術専門職の「自律的な化学物質管理」~オキュペイショナルハイジニストから見た実務・課題・展望~(部会フォーラムを想定)  
座長：未定
    - 1) 製造業の内部担当者としての実務と展望
    - 2) 学校の内部担当者としての実務と展望
    - 3) 外部専門家としての実務と展望
    - 4) 総合討論
  - これからの騒音障害予防対策について(仮題, 専門研修会を想定)  
騒音障害防止研究会とのコラボ企画(先方の了解済み)  
座長：未定
    - 1) ガイドライン改正
    - 2) 騒音の実態
    - 3) 化学物質による不可逆性難聴
    - 4) 今後の騒音障害防止管理について

この2テーマについて, 幹事の意見を聞いた上で, 9/20までに事務局に返答する。

3. 今後の部会主催行事のテーマ候補について  
下記のような提案がなされた。
  - 経皮吸収(化学防護手袋のガイドライン)
  - クリエイト・シンプルによるリスクアセスメント
  - 混合物のリスクアセスメント
  - 溶接ヒューム(自律管理に移行した後の対応, マンガン以外の曝露評価)

このうち, 第33回協議会(甲府)では, 下記を企画案候補として検討することとした。

- 経皮吸収(化学防護手袋のガイドライン)
- クリエイト・シンプルによるリスクアセスメント

4. 部会として現在進行中の企画として, 下記についての報告および議論があった。
  - 自律的な化学物質管理に関する外部との協力, 研修(現時点で特に進展している事項はなし)
  - OHTA資料の翻訳について
    - OHTA資料の翻訳について, OHTAとは調整済みであること, ならびにNTTのAI翻訳を契約する方向で, 現在試用期間中である旨, 報告があった。現在, OHTAの初級教育(W-201)について, 仮訳済み。
    - 今後については, 各分野について担当者を募ってAI翻訳の修正作業を行う。
    - 翻訳が終わった資料については, OHTAのサーバーに日本語版として登録(公開), 部会Webページからリンクを張る。

これについて, 下記のような意見があった。

- 早い段階(たとえば来年春の学会等)で紹介するのが良いのではないか。
- 学会側からの要請(会員限定公開, 非会員への有償公開等)については, OHTA資料が翻訳版も含めてOHTA側のサーバーに掲載され, 無償公開されるため難しい。会員限定公開, 非会員への有償提供については, 今後のe-Learningの検討次第だが, OHTAとの調整が必要だろう。
- ボランティア作業なので, 業務が特定の人に偏らないように注意が必要だろう。
- 分野によっては技術部会内では対応が困難な場合も考えられる。その場合は担当者を部会外に募ることも可能だが, 可能であれば部会員になってもらうことも一考。

- OHTA 資料の和訳を基本とし、我が国の基準、法規制等と異なる場合については、注釈で対応する（本文の修正は行わない）。必要があれば解説書を作って部会 Web ページで公開することは可能。
- ANOH について、団体会員になる方向で進めている旨、報告があった。
  - 理事として中原さん、セクレタリとして持田さんに了承済み。
  - 参加する場合は自費になる。
  - 年会費 1000 ドルは部会から支出する。

5. 業務担当理事との打ち合わせ結果の報告と必要な対応についての検討

- 7/30 に実施された業務担当理事との打ち合わせ結果についての報告があった。
  - 学会員、部会員にメリットが感じられる企画として欲しい(会員になるインセンティブが発生するように)。
  - 部会員としての作業はボランティアであり、謝礼を渡すのは NG。
- これに間して、下記のような議論がなされた。
  - 部会行事、地方会行事等で、会員と非会員で参加料金を差別化する、資料の一部を会員限りとするなどを検討することが必要ではないか。部会員向けだけでなく、学会員向けの公開も検討すべき。
  - 会員が議論できるスペース（掲示板機能）として、Facebook のプライベートグループの活用を検討したらどうか。関係者で使ってみて、問題ないようなら部会員にアナウンスする方向で考えたい。
  - 部会員限定情報については、部会 Web ページにパスワードを掛けたエリアを作り、部会員向けメールでアクセス情報をアナウンスする方法で可能。学会員限定ということになると、広報委員会に諮って会員ページに掲載する方法となるのではないか？

6. 地方会行事ならびに他部会主催行事について、九州地方会研修会（10/22）、関東産業衛生技術部会研修会（12/17）および、関東産業看護部会主催行事（10/22）についての紹介があった。

- このうち、関東産業看護部会主催行事（化学物質管理の基本と実践へ向けて）については、関東産業看護部会からの協力要請があったもので、中原さんが演者、グループワークのファシリテーターとして部会員数名の協力依頼があることから、協力可能な部会員を募って対応することとした。
- 地方会行事については、企画が決まったら部会事務局に連絡してもらおう旨、幹事の先生方をお願いする。

7. 代議員選挙への対応について

今年には代議員選挙ならびに役員選挙の年なので、各地方会にて対応してほしい旨の要請がなされた。

8. その他

特になし。